

令和元年度第2回新川地域医療推進対策協議会、新川地域医療構想調整会議  
及び新川地域 医療と介護の体制整備に係る協議の場 議事要旨

開催日時 令和2年2月19日(水) 19:00~20:30

開催場所 黒部市民会館 101 会議室

議事要旨

- 1 開会
- 2 挨拶(事務局)
- 3 議題について説明
- 4 質疑応答
- 5 閉会の挨拶(新川厚生センター所長)

【質疑応答】

- 1 外来医療計画について、
- 2 届出による診療所への病床の設置に係る取扱いについて、
- 3 新川地域医療推進対策協議会各部会の開催状況及び医療介護連携状況について、

(委員)

公立・公的病院のダウンサイジングや機能転換が進んでいることがわかった。民間病院も介護病棟を介護医療院へ転換し、これは全国的にも速いスピードで進んでいると聞いており評価いただきたいところ。今後も民間病院は急性期の病院と連携していく必要があり進めていきたい。今後の目標となっている病床数に近づけていくというのは、今すぐは難しいと感じている。この先、人口が減って高齢者が減ってくれば、慢性期もダウンサイジングや機能転換を考えていかなければいけない。

一方、在宅医療が伸びていると言われたが、実感としてはまだ目に見えて増えているわけではなく、病院の病床数を減らす訳なので、県としても在宅医療の整備を早急に対応していただきたい。

(委員)

外来の機能で連携が必要な機器だが、CTやMRI等以外はOKなのか。例えば、ダビンチとか血管造影装置などは入っていないが、将来入る可能性があるのか。5年間はないのか。

(事務局)

今、国の示している外来医療計画のガイドラインでは先程示したものの限り。

(委員)

どうしてあれだけが俎上に載ったのか。

(事務局)

連携という観点で選択されたということだと思う。とはいっても〇〇病院も〇〇病院も地域医療支援病院として医療機器の連携という意味で共同利用が進められているし、〇〇病院も公的病院としては、CTなども共同利用を進めているので、仰々しく出しているが、すでに連携がかなり進んでいるのではないかと思う。前回の会議で出したように、扇状地ネットなどの電子連携も管内はかなり進んでいる方ではないかと思う。